

→ 飯塚市の教育を支える取組

小中一貫教育の推進～9年間の連続した学び～

飯塚市では、中学校区を単位として、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するため、地域と連携しながら、特色のある教育活動を行っています。乗り入れ授業・小中合同行事・異年齢交流学習等を実施し、一貫性と連続性のある指導を行っています。また、中学校区ごとに「小中一貫教育9年間活動プラン」を作成し、小中一貫教育の充実を図っています。

中学生のお兄さんが、ていねいに分かりやすく教えてくれるので勉強が楽しくできます。(小6男子)



私たちの学校は、「手本」が合言葉です。小学生のお手本となることを考えながら、いつも行動しています。(中3男子)

施設分離型

- 飯塚第一中学校区 (5小・1中学校)
- 飯塚第二中学校区 (2小・1中学校)
- 庄内中学校区 (1小・1中学校)
- 筑穂中学校区 (3小・1中学校)
- 穂波西中学校区 (3小・1中学校)

施設一体型

- 小中一貫校
- 穎田校 飯塚鎮西校
- 幸袋校 穂波東校

施設隣接型

- 二瀬中学校区 (1小・1中学校)

ICT機器を活用した教育

授業でのICT機器の活用は、子どもたちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や子どもたちの主体的・協動的な学びを実現する上で効果的です。飯塚市では、各小・中学校に電子黒板やタブレット等を整備し、授業等で活用することで、子どもたち一人一人の確かな学力の育成に向けた教育を推進しています。

【電子黒板・タブレット等の整備方針】

- ※電子黒板：小5～中3の普通教室、全特別支援学級数分を整備
- ※タブレット：全小・中学校へ40台程度/1校を整備

(2020年度末見込み)



電子黒板を使った授業



タブレットを使って、発表する資料を作成する様子



【飯塚市は「Pepper社会貢献プログラムスクールチャレンジ」に参加しています】

九州工業大学教授による小学校でのプログラミング学習
※ソフトバンク株式会社から無償貸与されたAIロボットPepperを活用



産学官連携による教育環境整備

AI化が進む未来の社会で活躍する人材を育成するために、企業や地元の大学と連携して、効果的なプログラミング学習のカリキュラムづくりや環境を整備するための取組を進めています。

【連携を進めている企業・大学等】

ソフトバンク株式会社、ライフイズテック株式会社、九州工業大学情報工学部、近畿大学産業理工学部

飯塚市がめざす教育

No.8

人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち
共に創り 未来につなぐ **幸せ実感都市 いいつか**

～すべては子どもたちと、
その未来のために～



「**幸せ実感都市 いいつか**」には、小・中・高・大が接続した教育環境が整っています。

小・中・高・大が整備された飯塚市の教育環境

【飯塚市内の小中学校】

飯塚市立小学校19校、中学校10校(施設一体型小中一貫校4校を含む)
福岡県立嘉穂高等学校附属中学校、私立日新館小・中学校

【飯塚市内の高等学校】

※ 福岡県立高等学校
嘉穂高等学校(普通科、理数科、武道・日本文化コース)
福岡県立嘉穂東高等学校(普通科、英語科、定時制課程普通科)
※ 私立高等学校
嶋田学園飯塚高等学校(普通科、保育福祉科、総合学科)
近畿大学附属福岡高等学校(普通科、看護科)

【飯塚市内の大学】

近畿大学産業理工学部、近畿大学九州短期大学、九州工業大学情報工学部



児童クラブと学校の連携を始めとした放課後活動の充実



体操「若い力」の発表を行う児童

飯塚市では放課後活動等の充実に取り組んでいます。

仕事などにより、保護者が昼間家庭にいない児童に対し、放課後に健全な生活の場を提供することを目的とした「児童クラブ」では、児童の協調性・忍耐力・体力等の向上を図るために、学校と連携した「教育プログラム」(集団活動)を実施しています。「論語」や「枕草子」の一節の暗唱、都道府県の位置を遊びながら覚える「県名カルタ」、大縄跳び、体操「若い力」など、多彩な教育プログラムに取り組んでいます。

また、放課後や週末などに、小学校や交流センターを利用して、希望する児童を対象に行われる「放課後子ども教室」では、地域の方々のご協力のもと、学習意欲の向上や基本的な生活習慣の定着などを含めた、様々な学習や体験活動を実施しています。



お問い合わせ先 **飯塚市教育委員会** 〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号
TEL:0948-22-5500(代) FAX:0948-29-5440
ホームページ: <https://www.city.iizuka.lg.jp/>

平成31年3月発行

→ 本物志向・未来志向の人づくりのために

「本物」との出会いや「体験」を通じて、自己や社会の「未来」を前向きに創造する子どもたちを育てる「キャリア教育」の推進

飯塚市では、未来を担い、グローバル社会で活躍する人材を育成するために、9年間の連続した学びの中で、各成長段階（前期・中期・後期）ごとに、子どもたち一人一人のキャリア形成を図っています。各期における未来・地域・世界とつながる教育活動を通して、「コミュニケーション能力」「コラボレーション能力」「イノベーション能力」を育成し、「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもたちを育てています。

飯塚市の未来を担い、世界へはばたく

「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもたち

21世紀を生きる子どもたちの社会的・職業的自立に向けて必要な3つの資質・能力の育成

コミュニケーション能力
受け止める力、伝える力

コラボレーション能力
協働して共に創り上げる力

イノベーション能力
新たなものを生み出そうとする力

地域
とつながる

未来
とつながる

世界
とつながる



中学校「立志式」

後期 (中学2年生・中学3年生)

社会の一員としての役割を自覚し、志をもって自分の進路を選択できる子ども



小学校「夢を語る会」

中期 (小学5年生～中学1年生)

未来の自分や身近な社会のために主体的に活動することができる子ども



「サイレント掃除」

前期 (小学1年生～小学4年生)

自分や他の人のために自分ができるところを一生懸命がんばる子ども

小中一貫教育の推進

→ 未来・地域・世界とつながる先進的な教育活動

未来とつながる

変化の激しい時代を生きぬくために、基盤となる「基礎基本の学力の定着」や「思考力・判断力・表現力等」を育成します。また、AI化社会にそなえ「プログラミング教育」を推進しています。

知識構成型ジグソー法による協調学習 (注2)



徹底反復学習

多層指導モデルMIM (注1)



プログラミング教育



飯塚市 ソフトバンク株式会社
教育事業連携に関する協定 締結式

「コミュニティ・スクール」の推進



地域とつながる

やさしさと温かさのあふれるまちづくりに向け、「地域とともにある学校づくり」を推進しています。

学校開放日(年2回)



世界とつながる

グローバル化社会で活躍できる子どもたちを育成するため、「コミュニケーションを重視した英語教育」、「国際教育」を推進しています。

ヤングアメリカンズ(注3)

オンライン英会話



サニーバール市との国際交流



注1 小学校入門期の「読みの力」を習得していく学習モデル

注2 東京大学 CoREF が提唱する、他者との対話を通して、自己の考えを深める学習法

注3 音楽やダンスを通じた教育や公演を行っているアメリカの非営利団体(平成30年度は、2校で実施)